

▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽▲▼▲▼△▽△▽
広島県緑化センターメールマガジン VOL.302 H27.8.1
▲▽△▽▼▲▼▲▽△▽△▼▲▼▲▼△▽△▼▲▼▲▼△▽△▼▲▼▲▼▲

ここ数日、猛暑日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか。緑化センターは標高 200~600m の山の中にあり、市街地よりも 2~3℃低く谷風も吹くので、幾分過ごしやすいです。また、広島県の取り組み「ひろしまクールシェア」の対象施設になっています。これは、電力需要が最大となる平日昼間の時間帯に公共施設や商業施設等に出かけて、涼しい場所を共有して過ごしていただく取り組みです。緑化センターでも、スタンプを集めることができます。10 回分のスタンプを集めると素敵なプレゼントがもらえます。ぜひ緑化センターへ涼みにお越しください。

★ 開花情報

ホドイモ（塊芋） マメ科ホドイモ属（写真1左）

北海道から九州の林縁に自生するつる性多年草で、葉は奇数羽状複葉で長さ 4~12cm の小葉が 3~5 枚あります。細長い地下茎に芋をつけるため、塊という意味のホドから名付けられました。7~9 月に葉腋から総状花序が伸び、赤紫色を帯びた翼弁を持つ淡黄緑色の花を咲かせます。花の長さは 7mm 程で、花弁は振れて左右非対称になります。ハナバチ類が蜜を求めて花の中心部に潜る時、振れた竜骨弁（下の花弁）に包まれている雄しべと雌しべが出てきて葯や柱頭に触れることにより受粉します。

場所：正面ゲート三叉路

センニンソウ（仙人掌）キンポウゲ科センニンソウ属（写真1右）

北海道以南の日当たりの良い場所に生えるつる性の半低木で、8~9 月、葉のわきに直径 2~3cm の白い花を多数つけます。花が終わると柱頭が伸びて先端に白い毛がつきます。この毛を仙人の髭に例えて名付けられたといわれています。有毒植物で、草食動物が食べないため、ウシクワズやウマノハオトシの別名があります。

場所：堰堤横

マンリョウ（万両）ヤブコウジ科ヤブコウジ属（写真2左）

関東地方以西の林内に自生する常緑低木で観賞用に栽培されます。直立した茎の上部にまばらに枝を出し、樹高 30~100cm になります。7 月頃に枝先に直径 8mm 程度の花をたくさん咲かせます。果実は球形で赤く熟し、正月の縁起物として利用されます。他にも〇〇両と名がつくものがあり、千両はセンリョウ科のセンリョウ、百両はヤブコウジ科のカラチバナの別名で、同じくヤブコウジ科のヤブコウジは十両とも呼ばれ、一両はアカネ科のアリドオシです。どの種も常緑低木で赤い実をつけます。

場所：管理事務所前

ムクゲ（木槿）アオイ科フヨウ属（写真2右）

韓国の国花で中国原産とされ、奈良時代に渡来した説がありますが、異説もあります。平安時代には垣根花として普及し、江戸時代に花木として品種改良が進みました。ムクゲの名は、中国名の木槿（モクキン）からの転訛説、韓国名の無窮花（ムゲンファ）からの転訛などの説があります。樹形は落葉低木で、よく分枝して高さ 3~4m になります。7~10 月に枝先の葉腋から直径 6~10cm の花を咲かせます。花色は普通紅紫色ですが、白花や八重咲きの品種があります。1 日花でありながら、夏から初秋まで長期間に渡って次々と花を咲かせます。ハチス、キハチスといった別名は、夜にしぼむハスの花の生態に因みます。

場所：苗畑

イソノキ（磯の木）クロウメモドキ科クロウメモドキ属（写真3左）

山林内のやや湿った場所に自生する落葉低木で、6～7月の開花後、真夏に赤く色づき、後に黒色に熟します。イソノキの名は、稲を束ねるワラを「結いそ（ゆいそ）」といい、イソノキの枝も稲の結束に利用されていたため、ユイソノキと呼ばれていたものが、頭文字の「ユ」が省略されてイソノキと呼ばれるようになったという説があります。

場所：中央展望台下

ナンキンハゼ（南京櫨・南京黄櫨）トウダイグサ科ナンキンハゼ属（写真3右）

中国原産で、公園樹、街路樹などに植栽されます。やや地味な花ですが、香りは良く、秋の紅葉と裂開した白い果実も楽しめます。

場所：見本園他

緑化センターホームページ（<http://ryokka-c.jp/>）に開花状況を掲載していますので、ぜひご覧ください。また園内にも、各月の開花マップがありますので、来園の際にはお立ち寄りください。

開花等の詳細は緑化センター管理事務所（082-899-2811）へお問い合わせください。

★園内開花情報まとめ

開花	キガンピ、クサギ、アベリア、オオヤエクチナシ、リョウブ、ノリウツギ、マツカゼソウ、クズ、ヒメジョオン、ヤマノイモ、ダンドボロギク、ヘクソカズラ 等
----	---

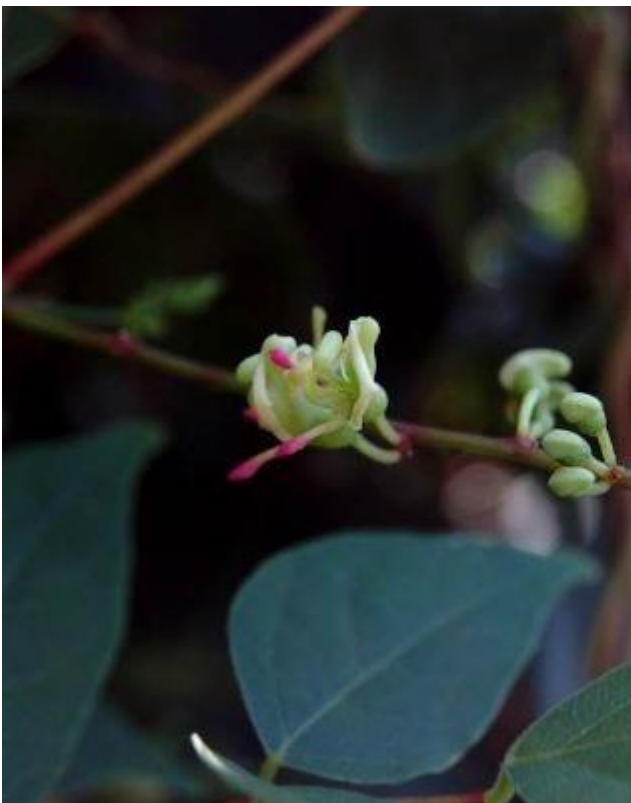


写真1 ホドイモ（正面ゲート三叉路） H27.7.31



写真1右 センニンソウ（堰堤横） H27.7.31



写真2左 マンリョウ (管理事務所前) H27.7.31



写真2右 ムクゲ (苗畑) H27.7.31



写真3左 イソノキの実 (中央展望台横) H27.7.31



写真3右 ナンキンハゼ (見本園) H27.7.31